

新発田市 令和5年度 第2回定例記者会見

1 日 時 令和5年5月8日(月)午後2時30分～

2 場 所 ヨリネスしばた503会議室

3 内 容

【市長発表項目】

○安心安全な「新発田産米」を世界へ！

新発田産米の輸出拡大に向け、事業者を当市へ招聘し、新発田産米の信頼をより確かなものとする取組について PR したい。

○IT・DX の拠点「キネス天王」で取組発表会を開催！

入居した多くの企業と、長岡技術科学大学とが連携し、新たな「化学反応」や「イノベーション」を生み出していくための取組について PR したい。

○大倉喜八郎×蒔谷虹児『ラッピングバス』が新発田を PR!

「蔵春閣」を契機に、新発田の新たな魅力を持った観光地を P R するため、新潟市内に運行するラッピングバスを PR したい。

○五十公野～赤谷地区で「あかたに路線」の運行を開始します！

少子高齢化社会が進行する中、市民が安心して暮らすための公共交通空白域の解消、公共交通の充実に向けた取組を周知したい。

○排水ポンプ車試験運転

水防活動の強化のために、今できることとしての取組である排水ポンプ車の導入について PR したい。

【その他】

○「食のアスパラ横丁、味めぐり」with 新発田牛 開催中！

○身体を動かすことが好きになる幼児運動事業

○こども読書週間行事「図書館わくわくきっぷ」

○グリーンカーテンプロジェクト2023in しばた 苗植え式

○箏・三絃・尺八演奏会～和楽器でつづる日本の四季～

○「文芸しばた」第49号 作品募集

あいさつ

- 田植えシーズンですが、例年ですと、この時期には植え付けがほぼ半分以上終わっているのですが、今年は特に菅谷では3分の1も終わっていないという状況であります。苗の伸びが悪いのか、あるいは今植えても活着が悪いから少しためらっているのか分かりませんが、代掻きもまだやっていないところもありますので、寒さが農作業に影響を与えているのではないかと思っております。

- ゴールデンウィーク中、市内の施設等に大変多くの方においでいただきました。とりわけ蔵春閣には、約9600人がおいでになったと聞き、まもなく1万人に到達するということでもあります。目標の年間1万5000人は、このままいけばクリアできるでしょう。今は、無料あるいは旬ということで来館者数が多くなっているのかもしれませんが、これが有料になり、一定の期間が過ぎたら、ほとんど閑古鳥ということになってはならないので、この辺は心してしっかりサポートしていきたいと思っています。おかげさまで滑り出しは上々だったのではないかと思っているところでもあります。

- 国ではマスクの着用については、以前から自主判断としております。市職員については、5類になるまでは、必ず着用するよう指示しておりましたが、今日からは自主判断にしました。しかし、ほとんどの職員がまだマスクをしているようであります。この辺が日本の国民性なのかもしれませんが、これから徐々に、マスクは取れていくのかもしれませんが、ただインフルエンザ並みになるとはいえ、インフルエンザとコロナの決定的な違いは薬がまだないということからすれば、まだ注意はしていかなければなりません。春から秋にかけてのワクチン接種をしっかりとサポートしていきたいと思っていますところでもあります。それでは会見項目について皆さん方にお知らせをして、少しでも記事にさせていただければ大変ありがたいと思っております。

最初に、安心安全な「新発田産米」を世界へ！についてです。

- このたび、ハワイでビールを製造している事業者さんをお招きすることとなりました。きっかけは、当市の米輸出事業のパートナーであるワッカジャパンさんです。同社は、米を「玄米」のまま各国へ輸出し、現地の飲食店等からの発注がきてから精米するという販売方法を採用しています。他の輸出事業者との差別化により事業も拡大しており、おかげ様で新発田産米の輸出量も大変好調であります。
- このワッカジャパンさんから、ハワイで「お米」を使ったクラフトビールを作りたい業者さんがいるとの話をいただきました。我々もぜひ協力したいとお願いをしたわけですが、この新発田で作られたお米が、遠いハワイでビールに変わるなどということは、私の頭の中には全くない発想でした。今回は、ワッカジャパンさんと合わせて、このビールを作っている「マウイブリューイング」さんを当市へお招きいたします。
- 滞在中は、田植え体験や、キネス天王で長岡技術科学大学が手掛ける最新のスマート農業やオーガニック栽培の研究についての視察や、「オーガニックしばたプロジェクト」に賛同いただいている、さくら製菓株式会社さんが手掛ける、無農薬・無添加の「スーパーオーガニック」ともいえる、米菓等の商品視察も予定しております。
- 安心安全に作られる「新発田産米」の工程に触れてもらい、新発田の風土、生産者のお米に対する情熱をしっかりと伝えてまいります。もちろんワッカジャパンさんには、輸出品となるお米を食べていただき、自信を持ってお客様にお勧めできるものであることを実感してもらい、販路拡大につなげてほしいと願っているところです。また、今後は、米や商品のアウトバウンドだけでなく、農業体験型ツアーによる誘客など、新発田の農業の魅力についても発信していきたいと考えております。

概要

- 期 日：5月23日（火）～5月26日（金）
- 招聘業者：ワッカジャパン（米の輸出）、マウイブリューイング（ハワイでビールの製造・販売）
- 主な行程：市長表敬訪問、田植え体験、さくら製菓、キネス天王視察、市内観光（蔵春閣、菊水酒造見学、いちご狩り）、スワンレイクビール見学 など
- ワッカジャパンの販売拠点：台湾、香港、シンガポール、ベトナム、ニューヨーク、ハワイ
- 米の輸出量：R1産米 268t、R2産米 265t、R3産米 233t、R4産米 289t（見込み）

次に、IT・DX の拠点「キネス天王」で取組発表会を開催！についてです。

○昨年10月にオープンした「キネス天王」には、長岡技術科学大学をはじめ、日本旅行やナミックスなど7社が入居しておりますが、さらに今年4月から、ドコモビジネスソリューションズが入居いたしました。

○たくさんの素晴らしい企業と大学に入居いただきましたが、単に4番バッターを揃えれば勝てるというものではありません。キネス天王が持つポテンシャルを最大限に発揮するためには、入居する企業や大学が連携し、新たな「化学反応」や「イノベーション」を生み出すことが必要です。

○入居企業が互いの強みを知り、タッグを組む環境を整えていくため、このたび、連携会議を開催し、各社がキネス天王で取り組む内容を発表することといたしました。

○キネス天王では、市が進める「オーガニック SHIBATA プロジェクト」として、長岡技術科学大学を中心にスマート農業の推進に取り組んでいるほか、日本旅行がオーガニック農業体験を教育旅行に組み込んで情報発信していくなど、これまでにない、新しいことにチャレンジしています。

○今年度は、キネス天王に集約した先端技術を市内に波及させるため、「市内産業DX推進事業」として、市内の中小企業が抱えるDX化の課題を、先端企業が持つ技術とマッチングできるよう、市がコーディネートしていく予定です。

○さらに、旧本田小学校の活用についても検討を予定しており、キネス天王のようにしっかりとしたテーマを持って活用していきたいと考えているところであります。

【キネス天王入居企業・大学】残り5部屋（大2部屋、中2部屋、小1部屋）

・長岡技術科学大学

①日本旅行

⑤スカイフォトサービス

②ナミックス

⑥シアンス

③アイビーシステム

⑦新潟東港運輸

④トップライズ

⑧ドコモビジネスソリューションズ（R5.4～）

次に、大倉喜八郎×落谷虹児『ラッピングバス』が新発田を PR!について
です。

- 4月29日にオープンした「蔵春閣」を契機に、市街地に点在する観光施設や、歴史・食・文化といった新発田の魅力も多くの方に楽しんでもらう新たな観光地をPRするため、新潟市内にラッピングバスを運行します。
- ラッピングバスは、近代新発田を代表する偉人、大倉喜八郎と落谷虹児をデザインに、古町や万代シティ、新潟駅周辺など、市内の主要路線を回る予定です。
- 新潟市や近隣自治体の皆様に、「新発田が何か楽しそうだぞ。」と感じていただき、是非当市へ足を運んでいただければと願っております。蔵春閣は、新発田駅から徒歩3分の立地にありますので、JRなどの公共交通機関を是非ご利用ください。
- 今後は、蔵春閣の7月1日のグランドオープンに合わせ、県内全域を運行するJRラッピングトレインも予定しているほか、5月28日までの土・日・祝日に限定し、月岡温泉を經由し、新発田のまちを回る無料バスを運行しております。
- 是非、これらもご利用いただき、蔵春閣をはじめ、市内の観光スポット、お食事処、お土産屋さんなどにお立ち寄りいただき、歴史のまち新発田を五感で感じていただきたいと思います。

【概要】

運行期間：5月20日（土）から12か月間（予定）

運行ルート：新潟市内…新潟交通株式会社 南部営業所路線

（県庁線、新大病院線、市民病院線、鳥屋野線、上所線、女池線など）

※県庁、古町、万代シティ、新潟駅前、新潟駅南口、長潟など

次に、五十公野と赤谷地区を結ぶ「あかたに路線」の運行開始についてです。

○今回運行を開始する地区は、昭和59年に旧国鉄赤谷線が廃止された後、路線バスに転換されましたが、その後、利用者数の減少が続くにつれて、系統整理や減便などを経て、これまで

あかたにろっけんまちせん
「赤谷六軒町線」として運行されておりました。

○平成30年4月からは滝谷地区への路線バス運行が廃止となったことや、道路の狭さによりバス運行が難しい地区があることなど、地域にお住まいの皆様から公共交通の見直しや拡充を望む声があがっておりました。

○五十公野と赤谷を結ぶ各地区において、自治会長や地元市議会議員の皆様と約1年をかけて協議を重ね、運行計画を構築し、来週16日をもって、新潟交通観光バス株式会社が運行している現在の路線バスから、市が委託する「あかたに路線」の運行に切替を行います。

○運行開始を記念し、5月16日（火）の午前8時に、青少年宿泊施設「あかたにの家」において出発式を開催します。

○新たな路線では、高校生の通学利用と「新発田版デマンド方式」の根幹である小回り運行を両立させるため、バス車両とワゴン車両を複合的に活用するハイブリット方式でスタートを切り、課題としていたバス車両が入りにくい地区も新たに運行エリアに加えます。

○少子高齢化社会が進行する中、地域の皆様が安心して暮らせるよう、今後も公共交通空白域の解消、公共交通の充実に取り組んでまいります。

最後に、排水ポンプ車試験運転についてです。

- このたび、水防活動の強化として迅速な排水対応が可能な排水ポンプ車を導入いたしました。
- 令和2年7月、令和3年8月と連続して集中豪雨を受けた際に、月岡の見城二区で国に要請いたしましたポンプ車の稼働が、浸水対策に非常に有効でありましたことから、「できることの一つ」として導入を決断したものであります。
- このポンプ車の能力は、20分間で25メートルプールの水量（600 m³）を排水できるという優れたものであり、市民の皆さまの安心・安全の一役を担います。
- 新潟県内の自治体がこのような車両を単独で所有するのは、上越市さんに次いで二例目であり、下越地域においては初の導入となります。
- 出番がなければそれに越したことはありませんが、「災害に強いまちづくり」を目指すものとして、対策の充実のための最大限の備えを施したものであります。職員には、常々「災害の時は大きく構えて、小さく対応しなさい。」と申しておりますが、その実践の一つであります。
- つきましては、この排水ポンプの試験運転を、5月17日（水）10時から新発田市民プールにおきまして実施いたしますので、報道関係者の皆さまにも是非ご覧いただきたいと思っております。

概要

- 日 時：5月17日（水） 10時から
- 会 場：新発田市民プール（新発田市岡田 1507番地）

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。